

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2020年11月20日）

■第2版 第1刷（2014年4月10日）～

第2版 第2刷（2019年2月20日）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第6章 内臓学 1. 循環器系					
182	Pointの5つ目の口	刺激伝導系は、洞房結節→房室結節→ヒス束→プルキンエ線維の順に刺激が伝わる。	刺激伝導系は、洞房結節→房室結節→ヒス束→ 右脚・左脚 →プルキンエ線維の順に刺激が伝わる。		20/11/20
183	「3 心臓」の4行目	心臓は4室からなり、 右心房と右心室 は肺循環に関与し、 左心房と左心室 は体循環に関与する。	心臓は4室からなり、 右心室と左心房 は肺循環に関与し、 左心室と右心房 は体循環に関与する。		20/11/20
185	2つ目の見出し「心臓を動かす神経と血管」の2行目	心臓を支配するのは交感神経と副交感神経で、両神経ともペースメーカーともよばれる[洞房結節]に線維を送り、そこからは刺激伝導系により房室結節(田原の結節)からヒス束を経てプルキンエ線維が心室全体に広がり、心室全体に刺激を伝える。	心臓を支配するのは交感神経と副交感神経で、両神経ともペースメーカーともよばれる[洞房結節]に線維を送り、そこからは刺激伝導系により房室結節(田原の結節)からヒス束、 右脚・左脚 を経てプルキンエ線維が心室全体に広がり、心室全体に刺激を伝える。		20/11/20